

# 宝木校区 人権推進協だより

宝木校区人権啓発推進協議会  
役員研修に参加して

会長 秋山 智博

役員研修は、琴浦町赤崎文化センターの解放教育講座に参加し2つのことを学びました。

1つ目は、「解放運動と部落差別の現実」という講演を聞きました。1922年(大正11年)、全国の被差別部落住民に呼びかけて全国水平社が結成されました。我々は差別されてきたからこそ、人間は尊敬されるべきである存在であると気づく事ができ、今こそ立ち上がり社会を変えていこうという動きが広がりました。以来敗戦までは、差別事件に対する糾弾闘争が中心となり、戦後50年間は、行政責任を明確にした法律のもと様々な対策を実施しました。そして今日では、国内外のあらゆる差別撤廃の取り組みへと伸展しています。この間の成果は、

- ・ 義務教育の教科書無償化
- ・ 就職差別撤廃の統一応募用紙の採用
- ・ 戸籍や住民票等の公開制限
- ・ 人権教育や啓発法の制定
- ・ 400超の自治体で人権条例
- ・ 国際人権規約の批准や人種差別撤廃条約の加入

などが挙げられます。

今後は、後を絶たない差別事件(落書き・電話等)の解決に役立つ、差別禁止と人権侵害救済法の制定を目指し、あらゆる差別撤廃に向け一層取り組んで行くと、まとめられていました。2つ目は、地域内のフィールドワークで、法律を活用して取り組んできた主なハード事業を見て歩きました。住環境は小集落改良事業、農地は圃場整備事業、災害で流された通学路の橋の架け替え等の説明を聞きまし。これら様々な事業をやり遂げる為、隣保館での役員会が400回以上、各地区での話し合いが毎晩のように行われていた、



フィールドワークの様子

別撤廃、人権確立の歩みを伺い敬意を表した次第です。

ふれあい交流会が  
開催されました

人と人とのふれあいを通して、豊かな人間関係や、温かみのある地域をつくることを目的にした「ふれあい交流会」が3月6日(日)気高人権福祉センターで開催されました。

当日は、田口幸代さんによる「人は笑うから美しくなる 笑いヨガ」の講座や、芸能交流として校区のサークルによる、大正琴・手踊り・コーラスの披露。会食では美味しいカレーライス、楽しいビンゴゲームなど盛りだくさんの内容で、75名の参加者が一緒に楽しみました。

とお話を伺いました。その他、子どもの教育・仕事保障・生活保障の取り組みも展開され、今までの部落差別



盛り上がったビンゴゲーム



カレーライスに舌鼓



笑いヨガでリフレッシュ

# 平成27年度 小地域懇談会 (10月9日~11月29日)

今年度も、各部落で小地域懇談会を開催し、79名の参加がありました。

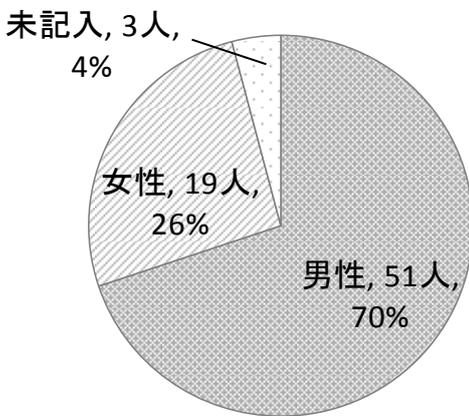
今年のテーマは、『家庭の人権』。家族同士や、家族が生きていく中で出会ういくつかの人権について、DVDを教材にして、皆さんと一緒に学習しました。

この懇談会で、あらためて「人権」について、感じたり、気づいたりする機会になったと思います。

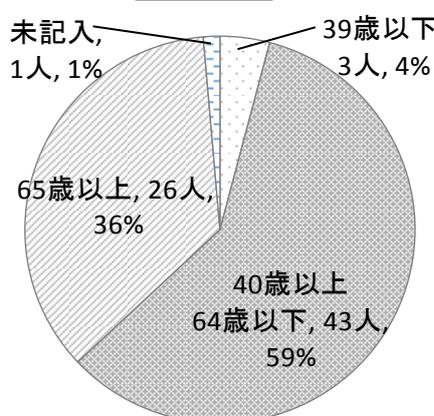
参加して下さった皆さん、ありがとうございました。  
アンケートの集計結果は下記のとおりです。(回答 73名)

	27年度
酒津	19
上光	7
下光元	7
夏ヶ谷	4
常松	9
富吉	11
宝木	14
水尻	0
奥沢見	8
合計	79

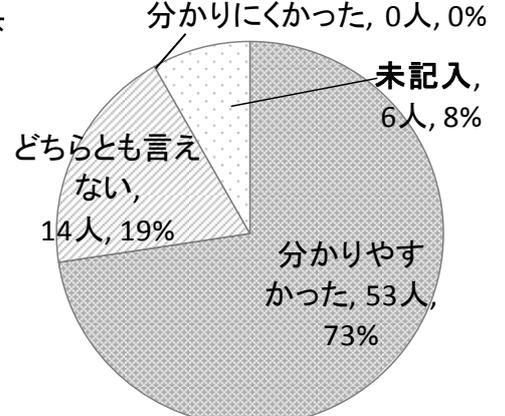
1. 性別



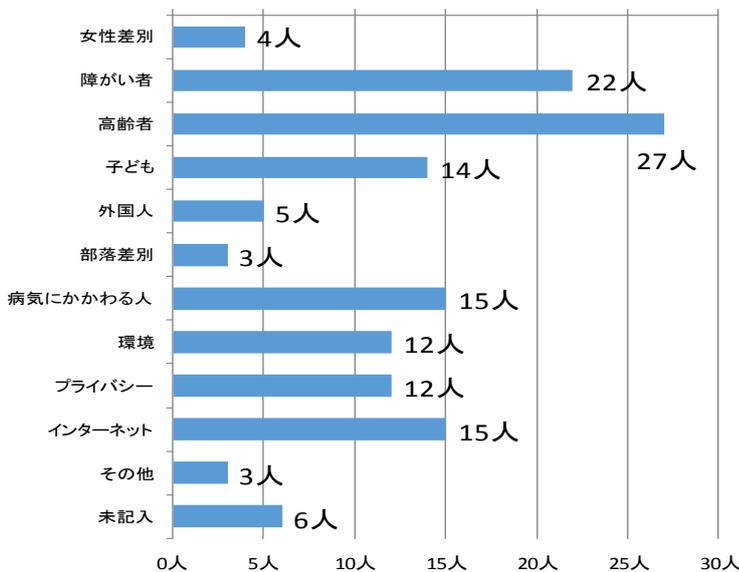
2. 年齢



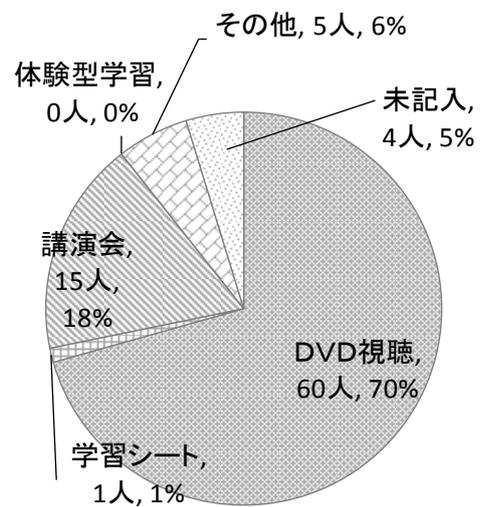
3. 学習内容について



4. 今後の懇談会でどのような人権課題が良いと思われますか？(複数回答)



5. 小地域懇談会の進め方は、どのようなものが良いと思われますか？(複数回答)



今年度も多くの皆様にご協力いただき、宝木校区人権啓発推進協議会の全事業を終えることができました。ありがとうございました。28年度もさまざまな人権課題に触れる学習機会を作ったり、家庭や地域のつながりをより深めることができると思っています。

編集後記



小地域懇談会の様子